

# 家庭で できる学力アッププロジェクト

県教育委員会では、小学校4・5年生、中学校2年生を対象に、「とちぎっ子学習状況調査」(教科に関する調査と質問調査)を実施しています。ここでは、これまでの調査結果を分析して分かってきたことを基に、保護者の皆様に参考にしていただきたい働きかけの例について紹介します。

## 子供のよさをほめ、自信をもたせていますか？



これまでの質問調査結果から、**家の人**は、**ほめてもらいたいことをほめてくれる**と思っている子供ほど、**自分にはよいところがあると**感じている傾向にあることが分かってきました。



ほめる際は、**結果だけを見るのではなく、努力の過程を認めるなど、自信をもたせるように**しましょう。その際は、**子供がどのようなことをほめてもらいたいのか**を考えることも大切です。

## 自信や意欲をもたせるための言葉

- (例) ○ 毎日がんばっていて、すごいね  
○ 努力をすることが大切だね  
○ どんどんよくなってきているね

お子さんに自信や意欲をもたせるために、どのような言葉かけが考えられますか？

県教育委員会生涯学習課発行「親学習プログラムアレンジ版」を基に作成



家庭でできる学力アッププロジェクトウェブサイト

上記のウェブサイトには、本リーフレットのデータや内容についての説明動画、過去の資料等を掲載しています。

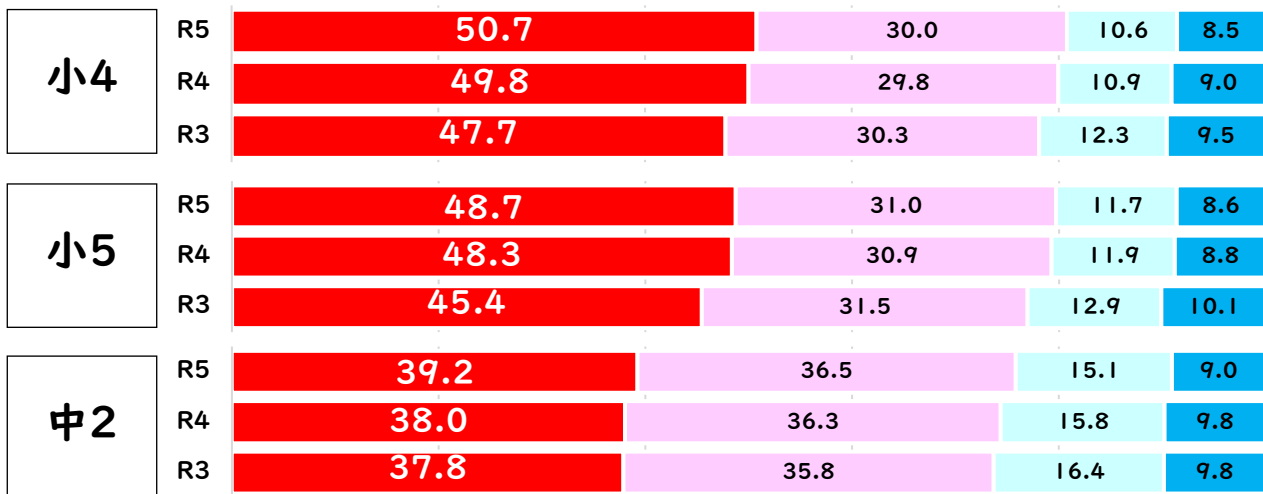


親学習プログラムアレンジ版

全国学力・学習状況調査のこれまでの結果分析からも、保護者の適切な働きかけは、子供に自信や意欲をもたせるなどの効果があることが分かっています。

# 質問：自分には、よいところがあると思う

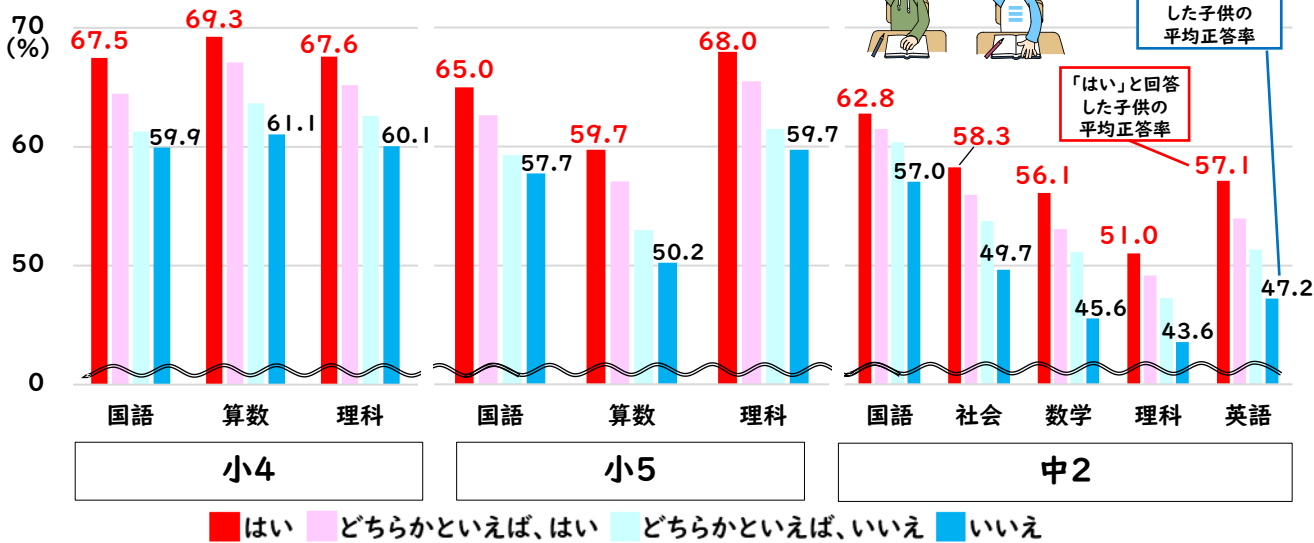
○ 質問に対する回答結果 ■ はい ■ どちらかといえば、はい ■ どちらかといえば、いいえ ■ いいえ



どの学年も、上記の質問に対して、「はい」と回答している子供の割合が、3年間で高くなってきていることが分かります。  
**子供が自分のよさに気づき、自信をもつことができるような働きかけをしていくことが大切です。**



○ 質問に対する回答結果と教科ごとの正答率との関係



どの学年・教科でも、上記の質問「自分には、よいところがあると思う」に対して「はい」と回答している子供ほど、正答率が高いことが分かります。

※ この棒グラフは、令和5(2023)年度の調査結果を表しています。

質問調査には、本リーフレットで取り上げた質問以外にも、学ぶ意欲や学校での様子、家庭学習に関する質問項目などがあります。

お子様と学習について話し合う際に、教科に関する調査結果と併せて、質問調査の結果も参考にしてみてください。

本調査の対象学年である小学校4・5年生、中学校2年生は、ウェブから解答する形式で復習・発展教材を活用することができます。

7月に学校に送付される個人票の裏面に詳しい活用方法を掲載していますので、御確認ください。